ラインフォース駆動型円盤風による SMBH進化の自己制御機構

野村真理子(慶應義塾大学)

大須賀健 (国立天文台), Chris Done (Durham Univ.)

Ultra-Fast Outflow (UFO)

● 一部のAGNの輻射スペクトルに青方偏移した吸収線を発見 トーラスでは青方偏移が説明できない ⇒ アウトフロー



UFOは質量・エネルギー放出率が大きいため、BHの成長過程や 母銀河の星形成に大きく影響を及ぼす可能性がある

ラインフォース駆動型円盤風モデル

 金属元素によるUV光の束縛-束縛遷移吸収によって受ける力 (ラインフォース)で生じる円盤風
 完全電離していない金属を選択的に加速
 予円盤風の加速と電離状態を同時に説明可能
 sub-Eddingtonでも加速が可能



Proga et al. (2000, 2004)

● 典型的なBH質量・光度についての2次元輻射流体シミュレーション



Nomura et al. (2016)

- ●広いBH質量、エディントン比領域での2次元輻射流体計算
- ラインフォース駆動型円盤風はUFOの電離状態・速度・柱密度を再現



Nomura et al. (2016)

- ●広いBH質量、エディントン比領域での2次元輻射流体計算
- ラインフォース駆動型円盤風はUFOの電離状態・速度・柱密度を再現



Nomura & Ohsuga (2017)

🤋 質量放出率の光度依存性はラインフォース加速モデルで再現可能



ラインフォース駆動型円盤風によってUFOが説明可能

問題点と本研究の目的

● 問題点: 円盤風噴出による降着率の変化を考慮していない

→ 降着率の変化は無視できない

- ・
 質量放出率・降着率・円盤風の構造を自己矛盾なく扱う必要
- SMBH進化の過程で円盤風の担う役割を定量的に解明

ラインフォースを含む輻射流体シミュレーション基礎方程式 [球座標 (r, 0, \phi)](1) 質量保存の式 $\frac{\partial \rho}{\partial t} + \nabla \cdot (\rho v) = 0$ ラインフォースを含む輻射力(2) 運動方程式 $\left[\begin{array}{c} \frac{\partial(\rho v_r)}{\partial t} + \nabla \cdot (\rho v_r v) = -\frac{\partial p}{\partial r} + \rho \left[\frac{v_{\theta}^2}{r} + \frac{v_{\varphi}^2}{r} + g_r + f_{rad, r} \right] \right]$ (2) 運動方程式 $\left[\begin{array}{c} \frac{\partial(\rho v_{\theta})}{\partial t} + \nabla \cdot (\rho v_{\theta} v) = -\frac{1}{r} \frac{\partial p}{\partial \theta} + \rho \left[-\frac{v_r v_{\theta}}{r} + \frac{v_{\varphi}^2}{r} \cot \theta + g_{\theta} + f_{rad, \theta} \right] \right]$ (3) エネルギー方程式 $\frac{\partial}{\partial t} \left[\rho \left(\frac{1}{2} v^2 + e \right) \right] + \nabla \cdot \left[\rho v \left(\frac{1}{2} v^2 + e + \frac{p}{\rho} \right) \right] = \rho v \cdot g + \rho \mathcal{L}$ 輻射加熱 · 冷却







ラインフォースを含む輻射流体シミュレーション

<u> 基礎方程式 [球座標 (r,θ,φ)]</u>



タ: $\xi = \frac{1}{n}$ n: 個数

ラインフォースを含む輻射流体シミュレーション

基礎方程式 [球座標 (r, θ, ϕ)]



ラインフォースを含む輻射流体シミュレーション

<u> 基礎方程式 [球座標 (r,θ,φ)]</u>



計算結果-質量放出率と降着率



計算結果-質量放出率と降着率





Summary

- UFOの有力モデルであるラインフォース駆動型円盤風に関して、質量降着率・放出率を自己矛盾なく計算する世界初の新モデルを構築
- 明るいAGNの場合、円盤風の噴出によって、質量降着 率がおよそ半分まで減少することがわかった。
- ラインフォース駆動型円盤風はSMBH進化の最終段階 でBHへの質量降着を抑制する。